

# 浅草寺病院だより

2026年  
【春号】

2026年4月27日発行  
社会福祉法人浅草寺病院  
東京都台東区浅草2-30-17  
☎ 03-3841-3330

## 理念

観音さまの大慈悲のみこころにそって、  
思いやりの精神のもとにあたたかい医療を提供します。



## 就任のご挨拶

4月から副院長として勤務することとなりました内科の鈴木貴博と申します。

専門は一般内科と膠原病・リウマチ・痛風などのリウマチ性疾患です。外来は木曜日の午前中に行っています。これまで足掛け31年間自治体病院にて勤務し、市民のための医療を実践してまいりました。縁あって当院に勤務することとなり、「観音さまの大慈悲のみこころにそって、思いやりの精神のもとにあたたかい医療を提供する」との病院理念に感銘を受けております。観



音さまのみこころのもとそのお力も頂きながら抜苦与楽を医療の面で実践するのが我々医療者の役割であろうと身の引き締まる思いです。関節リウマチをはじめとするリウマチ性疾患は最近でこそ有効な治療法が次々と開発され、患者さんを救ってまいりました。しかし私の研修医時代を振り返ると決定的な治療法がなかったため、必然的に患者さんに寄り添い、精神的に少しでも楽になれるように患者さんの話をよく聞いて対症療法として薬で痛みをとる治療でした。もとより観音様とはレベルもスケールも全く異なりますが、今思うと抜苦与楽のごごく一端を体験させていただいたのかもしれない。

1910年8月に明治の大水害の際に浅草寺境内念仏堂に被害者救護のための急療所を設置したのが当院の起源とされます。災害時にも地域住民のために尽くす、これも観音さまの大慈悲のみこころかと思えます。昨今首都直下地震に向けた取り組みが政府や自治体で始められています。当院の病院機能に基づいた地域での役割について改めて見直す時期に来ているのかもしれない。今後地域の皆様のための医療を微力ながら尽力したいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

この度、浅草寺病院の副院長を拝命しました原田裕子と申します。横浜の公立小学校、川崎の公立中学校を卒業し、慶應義塾女子高校から慶應義塾大学医学部へ進学しました。1994年に卒業し、慶應義塾大学医学部内科学教室に入局しましたが、出産・育児・配偶者の米国留学への帯同により、研修中断を余儀なくされました。帰国後に川崎市立井田病院で研修やり直しを行い、以後循環器内科担当部長まで務めましたが、持病の悪化



により一時井田病院を離れ、新百合ヶ丘総合病院や大和徳洲会病院の内科部長を務めました。2020年に川崎市立井田病院循環器内科担当部長に戻りましたが、2023年に実父の急逝により実家の診療所を急遽承継することになりました。

実家の診療所は川崎市多摩区にあります。土曜日だけの営業で、駅から離れた住宅街の中にあるので、患者さんも少なく細々とやっております。井田病院では2020年から腫瘍循環器学の研究を始めており、乳がんの化学療法の高毒性に対する早期診断方法や治療方法の究明を目標としています。今年度も週1回木曜日は井田病院に勤務予定です。

専門は循環器内科一般および総合内科です。内科9分野(循環器・神経・呼吸器・消化器・内分泌代謝・腎臓・血液・アレルギー膠原病・感染症)はプライマリケアのレベルで対応可能です。

平日は市中病院勤務で救急外来や入院診療に携わり、週末は町医者で訪問診療もやる、という生活です。川崎から浅草へ通勤すると毎日が観光旅行のようで楽しいです。この地域にお住まいの皆様の健康管理に役立てるよう、全力を尽くしてまいります。よろしくお願い申し上げます。

麗春の候、皆さまにおかれましては益々のご静祥のこととお慶び申し上げます。この度、四月一日付をもちまして、看護部長に就任いたしました藤原実香でございます。



浅草寺病院は、観音さまの慈光に見守られ、歴史と活気あふれる浅草の地で、地域の皆さまの健康を支える重責を担っており、深い縁と身の引き締まる思いを感じております。当院の理念である「観音さまの大慈悲のみこころにそって思いやりの精神のもとにあたためた医療を提供します」は、私たちが目指す姿です。看護の本質は、まさに当院が長年大切にしてきた精神と深く響き合うものです。

看護部といたしましては、この理念を日々の具体的な実践へと繋げてまいります。高度化する医療の中でも「手当て」の原点である温もりを忘れず、患者さんお一人おひとりの人生のものがたりを大切に、最善を考えてまいります。

そして地域の皆さまが住み慣れたこの町で、自分らしく、安心して暮らし続けられるよう、私たちは常に皆さまの心に寄り添う看護を実践いたします。

また近隣の医療機関や介護施設とも緊密に連携し、切れ目のないチーム医療を提供できる体制づくりにも尽力してまいります。

そのためにも職員の人材育成と一人ひとりが互いに尊重し、誰もが看護に誇りとやりがいを持って生き活きと働ける職場環境を育てまいります。

浅草寺の境内に流れる穏やかな空気のように、訪れる方々が安らぎを感じられる病院を目指し、精一杯努めてまいります。新体制となった看護部を今後とも温かく見守っていただければ幸いです。また至らぬ点もございますが、皆さまのご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。